

広報

11

Nov.2020
vol.611



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

伊達氏が歩んだ 歴史をたどる



戦国ステージ

1_ 豪華な対談に参加者は釘づけ 2_ 桑折西山城に感銘を受ける高橋さん。後日自身が出演したテレビ番組で桑折町について語っていただきました 3_ 伊達武将隊の熱い演武



半田祇園ばやし

文政の時代、京都からもたらされたと言われるおはやし。迫力ある和太鼓と軽快な締太鼓の奏でる音色が会場をひとつにしました

伊達氏の歴史を学ぶ「桑折西山城ライブ2020」が10月11日、桑折西山城跡・町民体育館・イコーゼで行われました。台風到来による雨の心配もありましたが、イベント開始とともに雨が止み、町民約700人がさまざまなアトラクションを楽しみました。町民体育館を舞台にした戦国ステージでは、数々の大河ドラマや歴史番組に出演し、芸能界きつての歴史通とも言われる俳優の高橋英樹さんと、昨年開催した復元祭で

も講師を務めた城郭研究の第一人者で奈良大学教授の千田嘉博さんが対談。書物では語られない城の歴史や魅力について、たっぷりとお話しいただき、会場をわかせました。また、仙台城を拠点としている伊達武将隊は、刀を使った迫力満点の演武を披露。政宗からの「桑折町は曾祖父・植宗の思い出の地。ここに立ててうれしく思う」との言葉に、参加者は大きな拍手を送りました。桑折若連協議会が半田祇園ばやしを披露し、会場に花を添えました。

歴史散歩

4_ 高橋さんに城跡を案内する高橋宣博町長。現地でも桑折西山城を堪能いただきました 5_ 伊達地方を一望できる眺め。「曇天も風情があってよい」との声も



戦国市

6_ 密を避けて、町内外のおいしい屋台が出店 7_ コロナ禍での久々のイベント開催に子どもたちも大喜び



町歴史案内人と桑折西山城跡を巡る歴史散歩には、新型コロナウイルス感染症予防対策として人数を制限し、147人が参加しました。参加者は、伊達植宗が政務を執っていた本丸中心建物や中館の枳形状虎口などを見学。少人数制のため、遺構や案内を間近に見聞きすることができ、現地での生解説に興味津々の様子でした。イコーゼでは、子どもたちを対象に、戦国時代を体験できるワークショップや甲冑体験コーナーを設置。多くの親子連れが訪れ、甲冑を着て記念写真を撮ったり、オリジナルの刀や万華鏡、伊達家などの家紋があらわれた缶バッジを作りました。当時に思いをはせながら、楽しく歴史を学びました。

イベントのために考案したオリジナル戦国団子をはじめ、おいしい食べ物がずらりと並んだ戦国市。食欲の秋にぴったりの香ばしい香りが会場に広がりました。「久しぶりだね。元氣だった？」などと出店者との再会を喜ぶ場面もあり、おなかもちも満たされました。



東北覇者の本拠地・桑折西山城

戦国時代、ここで何が起きていたのか見て、知って、楽しんで――

甲冑体験 ワークショップ

8_ 甲冑の重さにびっくり。気分はまるで戦国武将 9_ 万華鏡づくりに挑戦。どんな模様が見えたかな



城跡ライトアップ

イベントを記念して10月11日から3日間城跡をライトアップし、幻想的な雰囲気を出しました



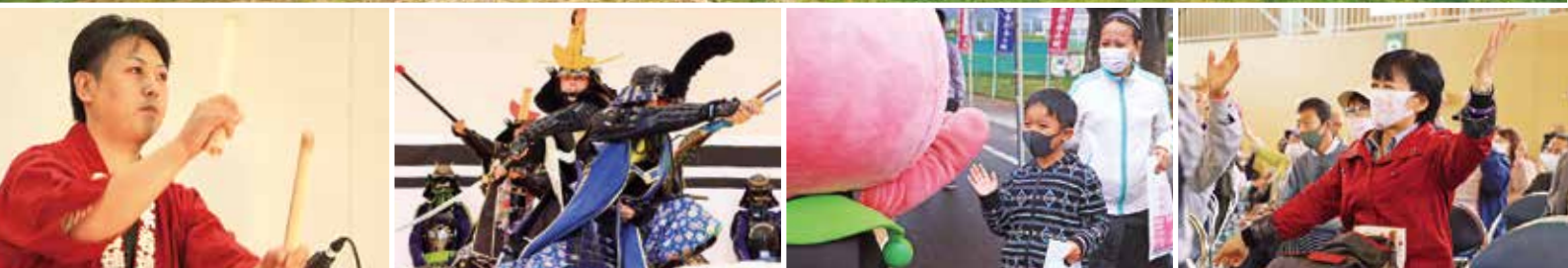
来年はいよいよ全国山城サミット

この地で、多くの笑顔に出会えますように――

日程 令和3年

10月30日土・31日日

場所 桑折西山城 ほか



このイベント開催が決まったのは、平成27年のこと。全国山城サミットを桑折町に誘致しようと、5年がかりで城跡を整備し、昨年は「桑折西山城復元祭」が開かれました。ようやく全国の舞台が目に見えてきた矢先、誰も予想だにできなかった、新型コロナウイルス感染症が拡大――。

開催が危ぶまれる中、準備委員会が一丸となって、今年のイベントのあり方について協議を重ねました。町民の皆さんの安全安心を第一に考えて、内容を大幅に変更。「新しい生活様式」に基づいて、参加者を町民に限定し、ライブ配信の形をとることにしました。ライブ動画は、10月末日現在、再生総数3千回に。今なお伸び続けています。

当初の思い通りにはなりませんが、町内外の皆さんに桑折西山城の存在を知ってもらおうという一番の目標を達成することができました。この経験を超えて、来年はもっと特別な日となりますように。城跡でたくさん笑顔がふれることを願って――。

特集 伊達氏が歩んだ歴史をたどる (完)



町商工会連合会
佐藤 克己さん

ほぼ1年ぶりのイベントということもあり、商工会連合会のメンバー12人で張り切って出店しました。町民限定ではありましたが、久しぶりに町ににぎわいが生まれて良かったと思います。9月に発売したばかりの「辛口桑折」も大好評でした。来年はさらに多くのお客さんを迎えられるように、コロナに負けず頑張ります。



歴史案内人
齋藤 知子さん

歴史散歩ツアーで、本丸や中館を案内しました。参加者の人数を制限したり、前後のグループとの距離に注意したりなど、新型コロナウイルス感染予防対策にも気を配りました。お子さん連れの参加者も多く見られました。ピクニック感覚で、山からの眺めを楽しみながら、歴史を学ぶきっかけになればうれしいです。



全国山城サミット
桑折大会準備委員会委員長
吉田 良典さん

新型コロナウイルス感染症の拡大や台風到来など不安なことが重なり、一時はどうなるか心配でしたが、来場者の皆さんの喜ぶ顔が見られて安心しました。これも、多くの皆さんのおかげだと感謝しています。来年はいよいよ全国山城サミットです。さらに内容を充実させて、全国各地から多くの人に来て楽しんでもらいたいです。

Interview

イベントの運営者、参加者それぞれに話を聞きました

楽しみ方は十人十色。みんなで歴史を考えるきっかけに――。



参加者
八巻 勇仁くん

甲冑体験をしました。子ども用なのに、想像よりずっしりとした重さで驚きました。昔の人はこれを着て戦っていたのだと思うとすごいなと思いました。半田祇園ばやしでは、友だちのお父さんが太鼓を叩いている姿がかっこよかったです。伊達武將隊の演武も、動きがとても速くて、迫力満点で興奮しました。



参加者
富田 彩さん

小学校で社会科の教員をしています。以前から城の歴史に興味があり、千田先生の番組もよくテレビで拝見していました。町にしながら、生で千田先生のお話を聞くことができ、貴重な経験になりました。講演を聞いてからツアーに参加することで、より一層桑折西山城への理解が深まりました。限定の御城印もうれしかったです。



参加者
菅野 正行さん

息子を連れてツアーに参加しました。実際に城跡を巡ることで、城周辺のつくりや険しい道のりを目の当たりにし、当時の戦いがどんなものだったか、想像を膨らませることができました。息子とはよく寺院・寺社巡りをしていますが、今回は改めて町の歴史に触れる貴重な機会となり、さらに地元を知ることができました。



まもなく配信終了！11月11日まで
イベントの様子を特別配信中！

イベント当日から1か月間に限り、YouTubeでイベントの様子を特別配信しています。配信終了後も、歴史に関する動画を順次公開していく予定です。チャンネル登録をして、どうぞ楽しみにお待ちください。

アカウント
「桑折西山城ライブ2020」



笑顔で描く 桑折の未来図

9月26日と10月3日、2回にわたって開催された「こおり未来会議」。次年度の総合計画策定に向け、20代から40代を中心とした町民22人が集まり、10年後も住み続けたい「桑折の未来図」について真剣に話し合いました。若者世代が思い描く桑折町の姿とは、会議の様子を一部紹介します。

町の将来像や方向性を定め、全ての計画の最上位に位置する総合計画。これから10年先を見据えたまちづくりの指針となる総合計画が、令和3年9月策定に向けて、今まさに進められています。

町では、多くの人に総合計画づくりに関わってもらえるよう、これまでアンケート調査やワール

ドカフェ方式での意見交換会などを行ってきました。

今回は、町の次世代を担う若者層のニーズを把握するため、「こおり未来会議」を開催。町民22人と高橋町長、町総合計画審議会の会長を務める奥原英彦さんにも東京からリモートで参加いただき、より良い「桑折の未来図」につい

て、座談会形式で意見を交わしました。

次世代の思う「町の姿」

会議では、「10年後も住み続けたい、住みたい町」をテーマに、多くの意見が出されました。9月26日の参加者（下記参照）の話し合いの様子を一部紹介します。

加藤 最近レガレこおりや上町チアーズなど、町内に若者が集まれる施設が増えてきましたね。

氏家 確かに新しい風が吹いてきましたよね。ただ県外の友達を呼んで、町で遊ぶとなると、ちょっと物足りなくて…。

加藤 そうそう、ランチ以外にも、半日以上時間を過ごせるような場所があると良いですね。例えば、駅周辺に観光客向けの交流・物販施設やカフェをつくるとか。観光客だけでなく、町民にとってもコ

こおり未来会議参加者に聞きました 若者世代が考える「住み続けたい、住みたい町」とは



和泉 真司さん
生まれも育ちも桑折町。町商工会に所属。小学生と幼稚園児、1歳の子をもつ4児の父。



赤坂 理恵さん
和歌山県出身。3年前、結婚・出産を機に夫の地元である桑折町へ移住。福祉団体に勤める。



加藤 沙耶子さん
大学2年生。自宅から県内の学校に通い、法律・行政・まちづくりなどについて勉強中。



氏家 颯俊さん
町出身で、高校卒業後、関東の大学へ進学。宮城県の楽天野球団に就職し、社会人4年目。



コミュニケーションの場になると思っています。

赤坂 いわゆる「憩いの場」がほしいですね。子どもから高齢者まで気兼ねなくふらっと立ち寄れて、交流できるような施設。カフェや屋内遊び場、物産コーナー、図書館など、色んな機能をもつ複合施設があるとうれしいです。

和泉 相馬福島道路・伊達桑折IC周辺の整備も進んでいますし、あの辺りの土地開発に期待したいですね。相乗効果で、町の商工の力にもつながると思います。

赤坂 交通の便も良くなりますし、10年後、「遊びに来て」と何

か自慢できるものがある町にしていきたいですね。県外出身者から見ても、桑折町の自然・果物・歴史は、県外に発信し、自慢できる強みだと思います。

氏家 「行ってみたい」という視点、大事ですよ。学生時代に東京へ出て、都会の人は地方で何かを体験することに魅力を感じているんだと知りました。都会にない良さを生かして、農地付きの空き家を活用したB B Qや農作業体験などがあれば、移住のきっかけにもなりそうです。

和泉 わたしも10年間町を離れていましたが、この町が好きで戻っ

てきました。魅力的な施設や体験を通して、いかに次世代に町を好きになつてもらえるかが、人口増加のキーポイントですね。30代、40代の使命だなと感じます。

まちづくりは「自分事」

少子高齢化を伴う人口減少社会の中では、行政や住民、コミュニティ組織、NPO、民間事業者、専門機関などが連携し、あらゆる問題解決に立ち向かっていかなければなりません。

そのためには、今回の会議のような場で、自分たちの住む町の現状や課題、資源や強みなどを知り、一人一人に「自分もまちづくりに参画している」と実感してもらうことが大切です。皆さんはどんな「桑折の未来図」を描きますか。一緒に考えていきましょう。

まちづくりのヒントは町民の声の中に



町総合計画審議会会長
奥原 英彦さん

(株)日本総合研究所に勤務し、国や全国地方自治体の計画策定に参画しています。また、現在は、ふくしま自治研修センターの総合支援アドバイザーとしても、県内市町村のさまざまな計画策定に携わっています。

今回の「こおり未来会議」では、若い世代の中でも、町にずっと住み続けてきた人や町に戻ってきた人、移住してきた人など、さまざまな立場の人から貴重な

意見を聞くことができました。皆さんの意見を聞いて「自分たちが自慢したい、ワクワクできる町にしたい」という思いを強く感じました。

計画づくりは行政だけではできません。町民の声の中から、ヒントを拾い上げていくことが大切です。これまでのアンケート調査や会議で出された意見を踏まえて、より多く町の皆さんの思いが込められた町総合計画をつくりたいです。

教育委員会委員 を任命



小野 紀章さん

10月1日付けで、小野紀章さん（新町）が、町教育委員会委員に再任されました（2期目）。

引き続き教育委員として、教育行政における重要事項や基本方針などについて協議を行い、決定する役割を務めていただきます。

任期は、令和6年9月30日までの4年間で。

▶避難所開設時に備えて、簡易テントの設置を体験



桑折町防災訓練 東日本台風から丸1年――

令和2年度地域防災訓練が10月18日、桑折町民体育館をメイン会場に、町と伊達崎地区住民自治協議会共催のもとで行われました。

東日本台風被害から丸1年。地区住民や消防団員など約100人が参加し、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、避難所開設時の感染防止策の確認や避難所で使用する簡易テントの組み立て訓練、炊き出し訓練などに積極的に取り組みました。

福島地方気象台職員による講演会も実施。「災害は『まさか』ではなく、『いつか』起きるもの」と認識せよ！『自分は大丈夫』とは思わない！との呼びかけに住民は熱心に耳を傾け、日ごろの備えを再確認しました。

町消防団秋季検閲 地域を守る決意新たに

町消防団の秋季検閲が10月18日、ふれあい公園で行われ、消防団員と女性防火クラブ員ら約200人が参加しました。

今回は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、操法訓練を自粛して実施。当日は、公園に遊びに来ていた親子連れや地域の皆さんが見守る中、観閲や分列行進、通常点検が行われました。



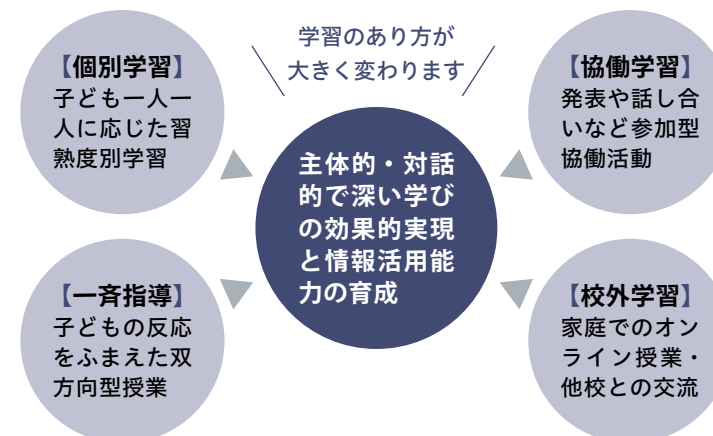
1、2_分列行進や通常点検に挑む団員。町民の安全安心を守るため、防災力強化へ決意を新たにしました



▲1人1台タブレット端末を整備します

「GIGAスクール構想」とは

- 目的**
- 1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを整備することで、誰一人取り残すことなく公正に個別最適化され、新しい時代に必要な資質・能力を育成できる。
 - 家庭でもつながる通信環境を整備することで、学校臨時休業などの緊急時にも子どもの学びを保障する。



ICTを活用することで 従来より授業の可能性が 広がっていきます

ICT環境整備・活用委員会委員長
醸芳小学校校長
高野 孝男さん



いよいよICTを活用した新しい授業が展開されます。例えば、「iPadの画面で友達を書いた考えを参考にしながら、自分の考えを発表する授業」や「子どもたち一人一人の理解状況に応じたコース別の算数科の授業」「音声を何度も自分のペースで聞きながら個別学習に取り組む外国語の授業」「自分の発表の様子を動画で撮影し、発表の仕方を振り返り、表現力を磨く授業」「家庭で担任を画面を見ながら、双方向で学び合うオンラインの授業」などが当たり前になるようになります。子どもたちが、学びの道具としてICTを活用し、情報活用能力を身につけられるように、教職員も研修を積み重ね、幅広い指導力を磨いていきたいです。

国のGIGAスクール構想への取り組みを通して、「桑折町の15歳のめざす姿（高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳）」の一層の実現を目指すため、来年度から町内の小・中学校でICTを活用した学習が始まります。

来年度2月までに、児童・生徒に一人一台のタブレット端末と校内高速大容量通信ネットワークを整備。そして4月以降、既に導入している電子黒板と合わせ、ICTを活用した学びの場を展開していきます。

各校で円滑かつ効果的に学習に活用できるよう、町教育委員会と各校教職員などで構成するICT環境整備・活用委員会を設置。10月1日には、第1回委員会が行われ、整備計画の内容や他校での活用事例などについて話し合いました。

今後視察研修や協議を重ねながら、本町に合ったICTを活用した学習の充実に努めていきます。

今後のスケジュール

時期	内容
11月	校内LAN敷設
12月	充電保管庫搬入・組み立て
1月	ネットワーク機器設定
2月	タブレット搬入・動作確認
3月	活用開始
4月	本格活用



小・中学校の教員らが情報共有

福 (株) T plus creation 寄附贈呈 ももの酢、売上金の一部を寄附

桑折町の応援団として、町産桃を使ったフルーツビネガー「福ももの酢」を製造・販売する(株) T plus creation が9月25日、地域振興に役立ててほしいと売上金の一部(5万円)を町に寄附しました。

町出身でもある代表の鶴町伸子さんは「上京してから、桑折町のあたたかさや居心地の良さを思い知った。大切なふるさとのために、少しでもお手伝いできたらうれしい」と話しました。高橋町長は「町も桃を使った六次化製品の開発に力を入れていきたい。今後もふるさと桑折を応援していただきたい」とお礼を述べました。



▲「ふるさと桑折の地域振興に役立ててほしい」と話す鶴町さん(写真左)



▲「きれいになった公園で、のんびりと気持ち良く過ごしてほしい」と話す会員の皆さん

地 シルバー人材センターボランティア活動 地域貢献のため、町をきれいに

町シルバー人材センターによるボランティア活動が10月15日、蚕糸公園と桑折駅前団地集会所周辺で行われました。

この日は、会員約20人が約1時間かけて敷地内の除草を実施。駅前団地の歩道や公園の駐車場など、手分けして隅々まで除草し、公園、集会所ともに見晴らしが良く、きれいになりました。

センターでは、60歳以上の会員がさまざまな仕事の依頼を受けて元気に就業しています。随時会員も募集していますので、興味のある人は気軽にご連絡ください(桑折町字西段10 ☎582-3194)。

県 県北森林組合寄附贈呈 産木材使った足踏み式消毒台を寄贈

県北森林組合が10月16日、新型コロナウイルス感染防止に役立ててほしいと、県産木材で制作した足踏み式消毒台を町に寄附しました。

菅野厚代表理事組合長が「県産木材のPRとともに、コロナ対策の一助として、お役に立てたらうれしい」と話しました。高橋町長は「木材の温かみがあって、地元木材をふんだんに使った新庁舎の雰囲気にもぴったり。新庁舎でもぜひ有効活用させていただきたい」とお礼を述べました。



▲「県産木材のPRとコロナ対策のために」と消毒台を贈る菅野代表理事組合長(写真左)



▲「家族みんなで減塩に取り組みましょう」と「食育の日」をPRする食改さん

食 「減塩の日」「食育の日」普及活動 改さんが「減塩」をPR

毎月17日の「減塩の日」、毎月19日の「食育の日」に合わせて、町食生活改善推進委員会による普及活動が10月19日、町内3か所のスーパーで行われました。

町食生活改善推進委員会(通称「食改さん」)が、スーパーの利用者に、減塩のおすすめレシピと「塩分注意」のロゴがあしらわれたウェットティッシュを配布。「桑折町は血圧の高い人が多いので、みんなで気を付けましょう」などと呼びかけました。受け取った人は「レシピを参考に減塩に努めたい」などと話していました。

運 釀芳幼稚園運動遊び参観 運動遊びって楽しいね！

新型コロナウイルスの感染拡大で中止となった釀芳幼稚園運動会の代わりに、運動遊び参観が10月6日、7日、9日に園庭で開かれました。感染予防対策として、年少・年中・年長組と日程を分け、参加者の人数制限や3密の回避、マスクの着用、手指の消毒などを実施。参加者は大きな声で応援しない代わりに、手を振ったり、拍手を送ったり、温かく園児を見守りました。子どもたちは、ダンスやかけっこ、クラス対抗リレーなど、どの種目においても、楽しみながら元気いっぱい体を動かしました。



▲棒をくぐったり、板を渡ったり、巧技台をジャンプしたり、数々の障害物にチャレンジ



▲校庭を力いっぱい駆け抜け、会場を盛りあげました(写真は半田釀芳小のリレー)

ア 各小学校運動会 アイデア出し合い、多彩な競技

新型コロナウイルスの影響で5月から順延となっていた各小学校の運動会が、「スポーツ集会」や「スポーツフェスティバル」などと学校ごとに形を変えて、9月23日を皮切りに実施されました。

新しい生活様式に沿いながら、ソーシャルディスタンスを保つために徒競走の1回あたりの人数を減らしたり、競技に使う道具を消毒したり、各校で工夫を凝らして行いました。

対策を講じ、いつもとは少し違った形でも、子どもたちの元気な姿と笑顔がありました。

今 釀中祭 年のテーマは「一陽来復」

釀芳中学校の文化祭「釀中祭」が10月17日に開かれました。

午前中の合唱コンクールでは、新型コロナウイルス感染予防対策のため、生徒同士の距離をとりながら実施。少し歌いづらい状況ではありながらも、クラス全員心をひとつに素晴らしい歌声を響かせました。今年は、1年2組、2年3組、3年1組が金賞を受賞しました。午後は、総合学習の発表や有志の生徒によるステージ発表がありました。お馴染みの曲に合わせたダンス披露や生徒会が企画した大抽選会などで、会場は大いに盛り上がりました。



▲休み時間や放課後に積み重ねてきた練習の成果を発揮し、安定したハーモニーを披露



▲笑顔で表彰台に登る亀岡選手(一番左)の今後の活躍に期待です

亀 高等学校新人陸上競技選手権大会 岡選手、東北大会優勝

第25回東北高等学校新人陸上競技選手権大会が10月2日、岩手県北上総合運動公園北上陸上競技場で行われ、町出身の亀岡花凜選手(学法石川高校2年)が女子2000m障害の部で優勝しました。

亀岡選手は、中学生のころから桑折町駅伝チームで練習を積み、昨年のふくしま駅伝では、町の選手として初めて「町の部区間賞」を受賞し、チームの「町の部入賞」に大きく貢献しました。

今年の駅伝は1区を走る予定で、「走れることに感謝して、全国高校駅伝の都大路につながる走りをしたい」と意気込みました。

Check

こおり健康ポイントを
貯めて健康力アップ

食・運動・社会参加を促進し、健康の維持増進を図るために、「こおり健康ポイント事業」を実施しています。積極的に下記の事業に参加して、「健康」と「地元産品」をゲットしましょう。

■ポイント対象事業

・健康こおりオリンピックにエントリー(提出)
※提出するとポイントが付与されます。

・健診・がん検診

※既に受けた人は健康増進係まで申し出て
ください。

・健康相談

・インボデイ測定

・イコーゼ!のプール利用など

■問い合わせ

健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

voice / ウォーキングチャレンジ事業に参加して



紺野 千恵子さん

初めて自分の歩き方のくせを知りました。先生に正しい腕の振り方を教わったので、早速実践したいです。健康こおりポイントを貯めながら、さまざまな事業に参加しています。楽しみながら健康づくりができて、良い取り組みだと思います。

あまり体を動していないと思っていましたが、今回の測定会で、日ごろの犬の散歩が健康につながっていたことに気がきました。今度は歩き方にも意識を向けて、いつまでも背筋がぴっと伸びた状態の姿勢を保てるようにしたいです。



佐藤 泉さん

「運動する人」を増やし、生活習慣病を予防するため、花王株式会社と協働した「ウォーキングチャレンジ事業」が10月17日からスタートしました。

メタボ該当者・予備軍や運動習慣のない人の割合が多い桑折町。時間の制約がなく、誰でも取り組むことができるウォーキングに着目し、約3か月にわたる歩行測定で、健康増進と運動習慣づくりを目指します。

初回の歩行測定会には、56人が参加し、圧力センサーシートの上を歩いて、「歩行の量(歩数・時間)」や「歩行の質(速度・歩き方)」を

確認しました。その場で、リモートシステムを使って、花王(株)のスタッフと個別面談し、歩き方の特徴や一人一人に合った改善方法をアドバイスしてもらいました。

今後は、毎日歩数計「ホコタッチ」を身に付けて生活し、1か月ごとに様子を確認。最終的には、来年1月下旬ごろに評価歩行測定会を行い、歩行基礎力を再度測定し、初回と比較して改善が見られたか確認します。

「歩行」に注目した新しい健康事業。ただ歩くだけではなく、歩行速度や歩行バランスを確認しながら、健康力を高めていきたいと思います。

ウォーキングチャレンジ事業 第7回

歩行の量と質を高めよう!

「歩行」に注目した新しい健康事業が始まりました。ただ歩くだけでなく、自分の歩くスピードやくせを意識しながら、歩行の量と質を高めて、健康力アップを目指しましょう。



▲専用器具で「歩行の量と質」を測定し、科学的見地から歩き方を確認

まもなく受付終了です! お早めにご応募ください

「健康こおりオリンピック」参加者募集!

一人一人が健康意識を高め、町一丸となって健康づくりに取り組んでいくために、「健康こおりオリンピック」を開催しています。それぞれの部門で、優秀作品には「金・銀・銅メダル」と「豪華地元特産品」などがプレゼントされ、子どもたちには、応募者全員に参加賞があります。

募 集 内 容	対 象 (表彰枠)
健康イラスト・ポスター	どなたでも ①幼児 ②小学1～3年生 ③小学4～6年生 ④中学生 ⑤高校生・成人
健康作文	①小学1～3年生 ②小学4～6年生 ③中学生
健康キャッチコピー・健康川柳	どなたでも ①子ども ②成人
お父飯コンテスト	男性
減塩おすすめの一品コンテスト	どなたでも
チャレンジ運動・改善部門(インボデイ、歩数、なわとび、禁煙、血圧測定など)	どなたでも ①個人 ②ファミリー(またはグループ)
愛ディア部門「桑折町が日本一健康なまち」になるためのアイデア	どなたでも

応募締切
12/28
まで

★健康川柳 一部紹介!

○健康は 家族みんなの 宝物(ミッキー) ○不摂生 分かった頃に 病気になる (桑折N子)

■提出方法

直接「やすらぎ園」へ持参(ポスト投函も可)または、郵送、メールでお申し込みください。

〒969-1692 桑折町大字谷地字道下22 健康福祉課宛 ☐kenko@town.koori.fukushima.jp

■問い合わせ 健康福祉課 健康増進係 ☎582-1133

Interview

生きがいをもつことが、健康につながる

花王株式会社
浜田 薫さん

花王(株)では、「歩いてGENKIになる」を合言葉に、自分の歩く特徴を科学的に解析して数値化することによって、一人一人に応じたより良い歩き方を支援・提案し、「動けるからだづくり」をサポートしています。

初回測定会では、歩行の特徴を解析・見える化できるシステム「ヘルスウォーク」を使って、一人一人の歩行の状態を確認しました。今回参加された皆さんは、普段から体を動かしている人が多く、中

でも働き盛りの若い世代の参加者も目立ち、若いうちから健康意識が高いという印象をもちました。

「健康第一」ではなく、何のために健康でいたい目標をしっかりと掲げることが、健康につながるのではないのでしょうか。皆さんの楽しい健康ライフのお手伝いができるように頑張ります。

NEWS

11月は虐待防止月間！



子どもにとって、親は一番身近で大好きな存在です。そのため、怒鳴られても、叩かれても「自分が悪い」と思い、自らSOSを出せるとは限りません。また、他の家庭の状況が分からないため、みんなも同じように怒鳴られたり、叩かれたりしていると勘違いします。さらに、親が何気なく発した「言う事を聞かないと、施設にやるよ!」「お前なんか生むんじゃないかった」などの言葉が子どもにとって強く印象に残り、親にほめられたい、愛されたいと、精一杯良い子になる

うと頑張る子どももいます。そうした子どもの態度を見て、親は「この子は強く言えば言う事を聞く」と捉えるかもしれませんが、それも虐待なのです。11月は、児童虐待防止推進月間。児童虐待は、社会で解決すべき問題です。虐待を早期発見するために、次のような行爲を見たり、聞いたりしたときは、声掛けをしたり、専門機関に通告するなどして、地域の人みんなで虐待から子どもを守りましょう。

■問い合わせ
健康福祉課 子育て支援係
☎582-1133

主な虐待の種類

- 【身体的虐待】 打撲・あざ・やけどなどの暴行
- 【心理的虐待】 怒鳴る・無視・ののしる
- 【ネグレクト】 食事を与えない・長時間放置
- 【性的虐待】 性的な行為の強要

虐待Q&A

Q、虐待かどうか分からず、判断できない！

A、それでも大丈夫です。町や児童相談所が、さまざまな調査を行います。虐待かどうかの判断は、それらを総合し、町や児童相談所が行います。

Q、間違っていたら、トラブルになるのでは！

A、通告を受けた市町村や児童相談所は、通告者を特定する情報を漏らしてはい

けないという法律があります。また、たとえ間違いでも、通告者が責任を問われることはありません。

Q、パパもママも虐待をするような人には見えないんだけど！

A、子どもを「良い子」に育てようと、まじめで一生懸命な家庭が、ついでを越したしつけや教育を行ってしまふ場合があります。あなたの一報が子どもだけでなく、保護者も救うことになります。

見逃さないで！虐待のサイン

子ども

- ・子どもの泣き叫ぶ声がする。
- ・不自然な傷や打撲の跡がある。
- ・衣服や体がいつも汚れている。
- ・落ち着きがなく乱暴。
- ・表情が乏しく、活気がない。
- ・夜遅くまで一人で家の外にいる。

保護者

- ・地域などと交流が少なく孤立している。
- ・子どもを家に置いて外出する。
- ・子育てに否定的・無関心である。
- ・子どもの病気やけがについて不自然な説明をする。
- ・強い不安や悩みを抱えている。

虐待かも?!と思ったら…

● 児童相談所虐待専用ダイヤル

☎189 (いち早く 最寄りの児童相談所で専門スタッフが話を伺います。)

※プライバシーは守られます (匿名での通報もできます)。※たとえ虐待がなく、間違いであったとしても責任は問われません。事実の説明や証明の必要ありません。

国民には、虐待を受けたと思われる幼児や児童を発見した場合には、町や児童相談所などに通告をする義務があります (児童虐待の防止等に関する法律第6条)。もしかしてこれは虐待ではないのかな…と思い、通告しないでいるうちに、子どもが死亡してしまったり、支援の対応が遅れてしまったりと事態が深刻化してきます。虐待かな?と思ったら、すぐに通告しましょう。

Recipe

今月の健康レシピ

ミルク卵の花

塩分 0.7g



■材料 (4人分)

おから …………… 200g
干しいたけ …………… 6個
牛乳 …………… 400cc
顆粒だし …………… 小さじ2
サラダ油 …………… 小さじ2
しょうが …………… 小1個
にんじん …………… 1/3本
ねぎ …………… 1/3本
油揚げ …………… 1枚
塩 …………… 少々

【1食分の栄養価】 エネルギー 190kcal / 脂質 10.0g / 鉄 0.9mg / たんぱく質 8.6g / カルシウム 181mg

■作り方

- ①しょうが、にんじん、油揚げはせん切り、ねぎは小口切りにする。
- ②鍋に牛乳・顆粒だし・干しいたけを入れて5分ほど煮る。しいたけがやわらかくなったら、取り出してせん切りにする (煮汁も使うので取っておく)。
- ③鍋に油を熱し、しょうが・にんじん・ねぎ・油揚げを炒める。おからを加えて炒め、干しいたけと②の煮汁を加えてへらで混ぜながら煮る。最後に塩で味を整える。

voice / おすすめポイント



おからは低エネルギーで、食物繊維を多く含みます。牛乳を加えると、カルシウムも摂れます。子どもと一緒に食べられるおすすめのメニューです。

こね 齋藤 美祐紀さん、采音ちゃん

野菜足りていますか？

カゴメ(株)「ベジチェック」で確認

野菜の目標量は、「1日 350g」です。ベジチェックという機器に手のひらをのせるだけで推定野菜摂取量が分かります。この機会にお試しください。(①②ともに土日祝日は除く)

■測定方法

- ①やすらぎ園で測定できます。
11月11日(木)～30日(月) 8:30～17:00
- ②お伺いして測定します。
ある程度の人数が集まる所へ職員が伺って測定します。電話で日時を予約ください。
12月1日(火)～9日(水)

■問い合わせ 健康福祉課 ☎582-1133

11

Nov.2020
Calendar

11/4 WED	広報11月号、お知らせ版 企画展「伊達氏の城」(12/13まで) ★
5 THU	4か月児健診 (R2年6月生、受付:13:15～13:30)、7か月児健診 (R2年3月生、受付:13:00～13:15)、ブックスタート ♥
6 FRI	桑折町表彰式 ホールボディカウンタ測定日 ★◆
7 SAT	
8 SUN	新庁舎町民向け内覧会 ◎伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121
9 MON	
10 TUE	健康相談日
11 WED	★
12 THU	
13 FRI	★◆
14 SAT	桑折学習塾 (中学)
15 SUN	第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 ◎大木内科医院 ☎575-3343
16 MON	
17 TUE	1歳6か月児健診 (H31年3～4月生) (受付:個人通知に記入)
18 WED	献血 ★
19 THU	健診結果相談会 ♥
20 FRI	健診結果相談会 ★◆
21 SAT	桑折学習塾 (中学)
22 SUN	◎こばやし子ども・内科クリニック ☎577-0663
23 MON	館長杯町民バウンドテニス大会 勤労感謝の日 遊び場親子イベント ◎村上医院 ☎585-2152
24 TUE	健診結果相談会
25 WED	ホールボディカウンタ測定日 ★
26 THU	こおり友遊くらぶ
27 FRI	◆
28 SAT	体験チャレンジ活動・青少年教育講演会 桑折学習塾 (中学)
29 SUN	JR桑折駅前イルミネーション(～1/31)、町民バレーボール大会 ◎小野寺整形外科医院 ☎575-2001
30 MON	
12/1 TUE	4か月児健診 (R2年7月生、受付:13:15～13:30)、7か月児健診 (R2年4月生、受付:13:00～13:15)、ブックスタート
2 WED	広報12月号、お知らせ版 ★

●公民館 ●やすらぎ園 ◎休日当番医 ◆母子手帳交付日

【子育て支援センター】:「イコーゼ!」10:00～11:30
♥ベビールーム (1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者)
★キッズひろば (1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者)
▶やすらぎ園 (☎582-6045) へ事前に予約してください。

図書だより

図遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

／ 今月のおすすめ ／

秋の夜長に読書はいかがですか？



一般書

■ 少年と犬

馳星周：著（文藝春秋）

2011年秋、仙台。震災で職を失った和正は、介護を必要とする家族の生活を支えようと、犯罪まがいの仕事をしていた。そんな和正の前に、ある野良犬が現れた。その犬を同行させると驚くほど仕事がうまくいく。和正にとって守り神となった犬の多聞は、なぜかいつも南を向いていて…。直木賞受賞作品です。



児童書

■ ねえさんの青いヒジャブ

イブティハージ・ムハンマド & S・K

・アリ：文 ハテム・アリ：絵

野坂悦子：訳（BL出版）

ヒジャブを知っていますか！ヒジャブは、イスラム教の女の人が髪の毛をおおいかくすのに使う布のこと。今日は新学期。ヒジャブをつけて、ねえさんがはじめて学校へいく日です。いもうとのファイザーはねえさんが、ほこらしくてたまりません。でも、すこし気になることもあって…。

掲示板

図生涯学習課 ☎ 582-3129

■ 室屋義秀氏による 青少年教育講演会開催

エアロバティック・パイロットの室屋義秀さんによる、青少年教育講演会を開催します。

日時 11月28日（土）
開場 13:30
開始 14:00

場所 イコーゼ！

内容 目標達成の秘訣
～自分を磨く3分間～

対象 町内在住の小中学生と保護者
一般町民 計120人程度

※希望者多数の場合は、別室でのリモート視聴場合があります。

申し込み 小中学生は学校で配付する申込書で学校を通じて申し込み。
一般町民は、11月5日から18日まで生涯学習課に直接または電話で申し込みください。

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、事前申込制とします。

※申込者には後日整理券を送付します。



■ ふくしま駅伝 沿道応援自粛のお知らせ

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、沿道での応援について主催者より自粛するよう要請がありました。

今年は、選手の活躍に期待し、テレビやラジオなどで応援しましょう。

日時 11月15日（日）10:00～

▶ スタート

10:00 郡山ヒロセ開成山陸上競技場

▶ フィニッシュ

12:40 福島県庁前

9区間 50.2km



INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

日ごろの成果を披露 桑折町文化祭

第45回桑折町文化祭が10月25日、町民体育館で行われました。

今年は「つなげよう 文化交流の輪」をテーマに開催。新型コロナウイルス感染予防対策のため、開催期間を例年の3日間から1日に短縮。参加団体も大幅に縮小し、手指消毒や検温などの対策をとりながら実施しました。「新しい生活様式」に基づく初の文化祭でしたが、町文化団体連絡協議会加盟団体会員による作品の展示や芸能・ダンス発表会など、日ごろの活動の成果を披露することができました。

今年は、作品展示と芸能ダンス発表会を同じ会場で開催したことで、写真や絵手紙などの展示作品と、ステージでのダンスや歌の発表を同時に楽しむことができました。来年は多くの町民の皆さんに参加してもらえることを願っています。

マルベリーこおり

図マルベリーこおり事務局 ☎ 582-3129

蔵王紅葉トレッキング ～町中央公民館共催～

秋のトレッキングが10月4日、蔵王で行われました。参加者9人が、宮城側の刈田岳から山形蔵王中央高原にある片貝沼・ドッコ沼を目指すコースにチャレンジしました。

コロナ禍の自粛ムードで長らく控えていたトレッキング。参加者は「蔵王にはスキーでしか訪れたことがなかったので、こんなにきれいな紅葉を見ることができて良かった」などと、久々の山の空気と景色にいやされていました。



スポーツの秋満喫 初心者テニス教室

初心者硬式テニス教室が10月7日から毎週水曜日（全4回）、桑折テニスコートで行われました。

このスポーツ教室は、totoの助成を受け、人工芝を張り替えた桑折テニスコートの利用促進と、町民の健康増進・体力向上を目的に毎年実施しています。今年は、グリーンアカデミースポーツクラブの嶋原悦子さんと桑友テニスクラブの大室光子さんの指導のもと、ラケットの持ち方からストロークやボレー、スマッシュ、サーブまで、テニスの基本を教わりました。



初戦突破…ならず 市町村対抗野球大会

市町村対抗軟式野球大会が9月19日、ほばら大泉球場（伊達市）で行われ、本町は浅川町と対戦しました。

1勝を目指して挑んだ桑折町。試合は、2回から毎回得点を許す苦しい展開でしたが、5回から登板した蓬田剛志投手が好リリーフし、以降0点に抑えました。すると、今まで抑え込まれていた打席が大反撃。5回に2点を返し、7回にも1点返し、チームの勢いを取り戻しましたが、あと一歩力が及ばず、7対3で惜敗しました。



飛べ！グライダー キッズスクール

こおりキッズスクールの第2回活動「バルサ材小型グライダーを作って飛ばそう」が10月4日、ふれあい公園などで行われ、町内の小学生8人と保護者が参加しました。

軽くて柔らかいバルサ材という木材を使い、グライダーのさまざまな部品を製作。全体のバランスを考えながら、機体を紙やすりで削って調整しました。機体が出来上がると、風向きを見極めながら飛ばして楽しみました。参加者は「自分で作ったグライダーを飛ばすことができて楽しかった」と話しました。

いざ!山城サミット

Koori Nishiyama Castle

桑折西山城だより 伊達氏の城

桑折西山城は、伊達氏14代植宗が戦国時代の天文元年(1532)ごろに本城として築いた山城です。では、その前後、伊達氏はどこに、どのような城を築いていたのでしょうか。

鎌倉時代に初代朝宗は、まず、高子(伊達市保原町)に入っているとされていますが、実際に本拠をどのように移転していったのかは明らかではありません。伊達氏の居城が定まるのは、室町時代の半ば、1400年代前半に11代持宗が梁川城を築くのを待たなければなりません。伊達氏はそこを植宗までの4代100年

間本拠とし、勢力を蓄え、14代植宗のときに桑折西山城に本拠を移したのです。

城は、梁川城のような平地や台地上への築城から、山城に変化していきます。伊達氏の城もそれにのっとり、山城の桑折西山城を約20年間本拠としましたが、植宗と15代目晴宗の間で天文の乱が起こり、勝利した晴宗は、幕府からの講和条件として桑折西山城を壊さなければなりません。この時、晴宗が伊達氏の新たな本拠としたのは、現在の山形県(当時は出羽国)の米沢であり、以後、

独眼竜政宗の時代まで、3代40年間本拠となりました。現在、種徳美術館では、企画展「伊達氏の城」が開催中(12月13日まで)。伊達氏の城に関する貴重な資料をぜひご覧ください。



梁川城庭園(桑折西山城同様の中心建物から望むことができた)

問い合わせ
生涯学習課 歴史文化係
☎582-3129

地元だより

Jimoto tsushin.

伊達崎いきいき百歳体操

発足4年、21人の仲間たちと楽しく健康づくり



毎週水曜日に伊達崎公民館で活動中
おそろいの町ポロシャツを着て頑張っています

伊達崎地区いきいき百歳体操グループは、活動を始めて4年が経ちました。発足時は6人でのスタートでしたが、「体が楽になる」と口コミが広まり、現在は21人まで仲間が増えました。

週に1度の仲間とのふれあいの時間として、体操の合間のおしゃべりも大切にしながら、みんなで親睦を深め、楽しく健康づくりに励んでいます。

★各地区・団体の皆さんから届いた地元の出来事を紹介します。掲載依頼は、総合政策課 広報担当(☎582-2115)まで。

広告

わたしの夢

Dreams come true.

恩師に憧れて――

引地 莉央さん(醸芳中3年生)



HIKICHI
RIO

吹奏楽部でトロンボーンを担当していました。曲を支えるやりがいのある楽器です。高校生になっても続けたいです。

将来の夢は、小学校の先生になることです。きっかけは、小学3、4年生の時の担任のT先生との出会いでした。校舎全体を使った鬼ごっこをしたり、理科の授業で面白い実験をしたり、わたしたちが楽しく学校生活を送れるようにさまざまなことを企画してくれる先生でした。4年生の時の「二分の一成入式」では、本人を前に「T先生のようにになりたい」と話したこともあります。その思いは今も変わらず、T先生はずっとわたしの憧れの先生です。

夢が叶ったら、T先生のように常に子どもたちの身になって考えて、「学校って楽しい、勉強って楽しい」と思ってもらえるように、子どもたちに色々なことを体験させてあげたいです。

こおりスマイル You have a good smile.



佐藤
叶真くん

元気に大きく育ってね! ママより♡



幕田
渚人くん

渚人の笑顔が大好き♡すくすく育ってね! ママより♡



阿部
蒼大くん

赤ちゃんと一緒にブランコ♪お兄ちゃんになる準備中 ママより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎!
①最近撮影した写真 ②氏名(ふりがな)・性別 ③メッセージ(20字程度)を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課 ☒seisaku@town.koori.fukushima.jp 右QRコードから簡単にメール送信できます。



広告

広告

YOMOGITA
TAIKO

「自助・共助の意識を高め、みんなで手を取り合って、大切な命・地域を守っていきましょう」と呼びかける蓬田さん

こおり暮らし

東日本台風から丸一年

「伊達崎魂」で防災力を高めたい

蓬田 タイ子さん（伊達崎）

伊達崎地区の住民自治協議会で、副会長を務める蓬田タイ子さんの。どんな自然が広がる一方、台風が発生すると浸水警戒区域となる伊達崎地区。災害と共存する地域で、住民の安全を守っています。

ちょうど一年前の東日本台風では、自宅前の道路が冠水。庭のすぐ目の前まで濁流が押し寄せました。夜中は近所の高齢者宅を見回り、夜が明ければ、被害を受けた住宅の泥の撤去や片づけ作業へ。「水害は3度目。だからこそ、伊達崎地区は結束力、共助の心が強い」と話します。

住民自治協議会でも、毎年恒例の防災訓練のほか、災害時に「安否の印」となる黄色い小旗を各家庭に配ったり、生活弱者を民生委員や消防団とともに把握したり、「災害に強い地域」にしようと、さまざまなことに取り組んでいます。

「原動力は伊達崎愛。ここに暮らす人々が大好きで、みんなを思うとつい体が動いちゃう」とにっこりほ笑む蓬田さん。「みんなで支え合いながら、住みよい伊達崎にしていきたい」と決意を新たにしました。

【編集後記】

紅葉の時期に入り、町が賑やかになってきました。秋晴れの日、陣屋の杜公園へ遊びに来た太田ののはちゃん。思わずこちらまで頬が緩んでしまうような優しい笑顔。外の空気が冷え込んできた分、ののはちゃんの笑顔で一層心がぽかぽか温くなるのを感じます▼「今月の広報まだありますか」そんなお声が増えてきました。保存用としてそばに置いていただける事、本当に嬉しく思っています。これからも心温まる広報紙を目指して頑張ります(愛莉)

◆人口（前月比）10月1日付

人口	計	11,592人	(-18)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,557人	(-10)
	女	6,035人	(-8)
世帯数		4,612世帯	(+1)
転入	16人	出生	2人
転出	27人	死亡	9人

◆今月の納税

- ・国民健康保険税（普通徴収5期）
- ・介護保険料（普通徴収5期）
- ・後期高齢者医療保険料（普通徴収4期）
- ・伊達西根堰土地改良区費（後期）

期限 **11月30日**

◆住民票/戸籍/印鑑/税証明/マイナンバー受け取り窓口延長
(毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。)

※**当日午後5時**までに税務住民課(☎582-2114)へ要予約。